

中学生における高校でのソフトテニス継続・非継続要因に関する研究  
Studies on factors of junior high students continuation and  
discontinuation of soft tennis in high school

1K07B157-8

指導教員 主査 木村和彦 先生

根引 唯

副査 宮崎正巳 先生

【研究の目的】

ソフトテニスは生涯スポーツとしては愛好者人数が推定 700 万人いる (2010 年現在)。

しかし、オリンピック種目でもなく、プロ選手も存在せず、メディアへの露出も少なく、マイナースポーツとして知られている。競技スポーツとしては、(財)日本ソフトテニス連盟に中学生では 40 万が選手登録している。しかし、高校に入ると選手登録数が 5 分の 1 の 8 万人に減少してしまうのが現状である。この問題がソフトテニスの競技人口が増えない一因であると考えられる。

ソフトテニスは中学生の部活動では全ての種目の中でも部員数で上位に入る種目だが、なぜ高校に上がるとソフトテニスをやめてしまうのか興味を持った。また、筆者自身、中学校でソフトテニス部に所属し同期が 8 人いたが、高校でもソフトテニスを継続したのは筆者 1 人であった経験から、どのような影響要因によって高校でソフトテニスを継続・非継続につながるのか関心があった。

高校での非継続・継続の影響要因、継続意思・非継続意思の競技目的、非継続意思競技者の非継続要因を明らかにすることがソフトテニス競技者を増やすためには重要な課題だと考えた。また、高校での非継続要因として硬式テニスへの変更、指導者が好きではない、またソフトテニスを始めた影響要因によって非継続・継続意思に繋がる可能性があると考えた。そこで、本研究では、中学生における高校でのソフトテニス継続意思・非継続意思に影響を及ぼす要因を明らかにし、継続意思を高める方法の資料を得ることを研究の主たる目的として設定する。

【研究方法】

調査概要

1つの県では地域性などの偏りができると考え、2つの県のソフトテニス部の中学生を対象にして質問紙調査を行った。調査対象者：中学生埼玉県所沢市内、三重県熊野市内、三重県南牟婁郡のソフトテニス部所属の中学生

調査期間：10月20～31日

調査技法：質問紙調査

サンプル数：205

分析方法：統計処理、分析は SPSS、Microsoft Office 2007、t 検定

ソフトテニスを始めた影響要因、ソフトテニスを行う目的が高校での継続意思・非継続意思に影響を及ぼすの

ではと考え、先行研究を参考に質問紙の項目を設定した。高校での継続意思を 7 段階尺度、継続目的・非継続要因・生涯スポーツを 5 段階尺度での回答とした。

【結果と考察】

高校でのソフトテニス継続意思・非継続意思にソフトテニスを始めた影響要因が関係していることが明らかになった。ソフトテニスを始めた影響要因が「家族」「先輩・友達」の回答者は高校での継続意思が高かった。一方、始めた影響が「仮入部・クラブ見学・クラブ紹介」「楽しそう・面白そう」の回答者は高校での継続意思が低い結果となった。高校での非継続意思回答者の非継続要因では、他のスポーツをやる人、指導者が好きでない、アルバイトに専念するという回答が予想よりも多かった。この結果から、硬式テニスに変更するからソフトテニスをやめるのではないということが明らかになった。

【結論】

高校でのソフトテニス継続意思は始めた影響要因によって変化することがわかった。

以前にソフトテニスやテニスを経験した人ほど継続意欲が高く、イメージや見学で入部を決めた人ほど非継続に繋がる。非継続要因として、硬式テニスがしたいからソフトテニスを高校では続けたいのではと当初考えていたが、硬式テニスがしたいから高校でソフトテニスを続けたいだけでなく他にも要因があることが明らかとなった。高校ではアルバイトや勉強に専念したい、またスポーツ自体やりたくないと考え、スポーツの場自体から離れ、違うことに専念したいと考える人が存在することが明らかとなった。

今後の研究課題として、非継続意思回答者の他のスポーツへの変更とはどのようなスポーツなのかを明らかにする必要があると考える。また、以前にソフトテニスを経験したことがある人程、継続意思が高い要因から、小学生や中学生に実業団や大学生などがソフトテニスの魅力を伝える場を普及させることなどが必要であると考えられる。

そして、指導者が好きではないという理由でソフトテニスをやめる回答者もいたことから、軟式テニス独自の面白さ・魅力を明らかにし、それを指導者がどう伝えていくかの研究をすることによって、指導者の指導方法の向上にもつながると考え、今後必要になると感じた。